

(No.)

CI-NET 建設資機材コード専用 改善要求書 (CHANGE REQUEST)

※ E-mail 等で送付の場合、項目を全て網羅していれば本様式を使用していなくとも可

発信者記入欄		事務局記入欄	
発 信 日	2012年11月15日	受 信 日	年 月 日
会 社 名	実用化推進委員会 設備見積WG	事務局処理記入欄	
企業識別コード			
部 署 名			
担当者名			
TEL :			
連 絡 先 FAX :			
E-mail :			
件名 CI-NET と C-CADEC の資機材コード統合に係る改訂要求について			
改善要求内容【既存資料（JIS 規格書など）のコピーを添付することにより代用可】			
(1) 区分（該当するものにチェック） <input type="checkbox"/> コード追加 <input type="checkbox"/> コード変更 <input type="checkbox"/> コード削除			
(2) 資機材の分類（CI-NET コードの大分類・中分類・小分類・細分類で該当する分類） 機械設備分野のうち、機器設備（空調、衛生共通機器）、衛生・防災機器について、CI-NET 建設資機材コードと Stem コードの統合、および大分類以下のコード体系について整理を行う。 詳細は別添のコード一覧表に記載のとおり。			
(3) 資機材の概要と用途 両コードの統合にあたって行う改訂内容は以下の通り。 ① 大分類・中分類の整理 対象となる資機材は上記分野の機器設備、衛生・防災機器となるが、これらについて CI-NET コードと Stem コードの統合にあたって、以下のような分類名整理を行う。 (a)大分類：衛生器具設備→衛生・防災機器 (b)中分類：都市ガス設備→ガス関連機器 ② 専門工事部分に入っていた機器類に係る見直し CI-NET コードにおいて中分類までのコードが「50-90」（機械設備専門工事）となっている分類に関し、「90」に機器類が入っていたことから、これに関連して従来「90」の機器コードを「30」として再設定し直し、以下の分類について変更を行う。 ・「50-30-150」キッチン（厨房器具家庭用） ・「50-30-200」浄化槽機器 ・「50-30-250」ガス関連機器 ・「50-30-300」消火機器 ・「50-30-350」厨房器具（業務用） ・「50-30-400」中水、濾過機器 ・「50-30-800」その他特殊機器			

※両コードの統合にあたり、Stem コード側での変更も合わせて行われている。これにより Stem コードを CI-NET コードと統合する下地が整えられた。具体的には、コード表現を行う階層の途中において、「不明」にあたるコード値を C-CADEC では「999」としている一方、CI-NET では「000」としており、このずれを以下のようにして解消した。

不明にあたるコードを 1 階層上にした場合に

- －小分類：今の Stem コード「9000」の体系を「0000」に置き換え
- －細分類：今の Stem コード「999」の体系を「000」に置き換え

これらに基づき変更を行ったものは別添のコード一覧表に記載のとおりである。

(4) 資機材のスペック書式と単位（必要であれば）【例：長さ (m)、本数 (本)】
今回の改訂においては資機材のスペックレベルの変更はなし。

(5) 要求理由

建設の設計段階から調達、生産、保守の段階までの CI-NET と C-CADEC の情報連携性を高めることを目的として、CI-NET 建設資機材コードと C-CADEC の設備機器ライブラリーデータ交換仕様コード (Stem コード) との統合を行うためである。

この統合を実現することにより、CI-NET 建設資機材コードと Stem コードの統一化および統一化されたコード体系をもとにした設備機器情報の商流連携について、特に「CAD ⇄見積」連携実現が必須であるとの認識であったコード統合を現実のものとするのが可能となる。

また事務局内で 2 つの資機材コードが存在するという状況の解消にもつながり、ユーザにも統一コードを案内、展開していくことが可能となる。

(6) その他特記事項